

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 南アメリカやアフリカの発展途上国に見られる、特定の農産物や鉱産資源といった「一次産品」の輸出に、国の経済が過度に依存している状態を何と呼びますか。（2023年 福井公立入試 類似）

1. モノカルチャー経済 2. 加工貿易 3. 持続可能な開発 4. フェアトレード

問2 ブラジルの近年の産業発展と、その特徴について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2024年 富山公立入試 類似）

1. 鉄鋼業や自動車、航空機製造などの重化学工業が発展しており、さらに海底油田の開発によって原油を輸出するまでになっている。
2. かつてのようなコーヒー栽培を中心としたモノカルチャー経済が続いており、工業化よりも農産物の輸出拡大を最優先している。
3. アジア太平洋経済協力会議（APEC）に加盟し、周辺諸国との輸入関税を完全に撤廃することで急速な工業化を達成した。
4. 資源が乏しいため原油の全量を輸入に頼っているが、バイオ燃料の開発によって国内の電力需要をすべてまかなっている。

問3 南半球に位置するオーストラリアでは、多文化社会の形成が進む中で先住民族の権利回復も重要な課題となってきた。オーストラリアの先住民族を指す名称として正しいものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. アボリジニ 2. マオリ 3. メスチソ 4. ムラート

問4 南アメリカの大国であるブラジルの人口構成について、先住民や日系人と並んで大きな割合を占める「メスチソ」と呼ばれる人々が形成された歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 大航海時代以降、ヨーロッパから入植した人々と先住民が交わったこと
2. 労働力不足を補うために、アフリカから連れてこられた人々と先住民が交わったこと
3. 19世紀以降にコーヒー農園の労働者としてアジアから渡った人々と先住民が交わったこと
4. 植民地支配から独立する際、本国から派遣された軍人と現地の特権階級が交わったこと

問5 アルゼンチンの広大な草原地帯であるパンパにおける農業の特色について、その土地条件や活動内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 山口公立入試 類似）

1. 平坦な地形と温帯の気候を活かし、大規模な機械化による小麦栽培や牛の放牧が行われている。
2. 熱帯の厳しい環境において、広大な森林を切り開いたプランテーションで天然ゴムが栽培されている。
3. 標高の高い山岳地帯の斜面を利用し、リャマやアルパカの放牧とジャガイモの栽培が行われている。
4. 年間を通して雨が少ない乾燥した土地において、外来河川から水を引く灌漑農業が中心となっている。

問6 オーストラリアでは1970年代、それまで維持されてきた白人以外の移民を制限する政策が完全に廃止されました。これ以降、多様な民族がそれぞれの文化や宗教などの背景を尊重し合いながら、対等な立場で社会を構成する考え方が進められています。このような社会のあり方を何といいますか。（2026年 青森公立入試 類似）

1. 多文化社会 2. 単一民族社会 3. 排他的社会 4. 資源依存社会

問7 オーストラリアなどの鉱山において、地面を深く掘り進み、大型トラックが走行するための道を渦を巻くように地下へ作りながら資源を採取する手法が採用される主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 大型の機械やトラックを使用し、大量の資源を効率的に採掘するため
2. 地下深くにしかない希少な貴金属を、人力で丁寧に採取するため
3. 森林を保護し、地表の景観や生態系への影響を最小限に抑えるため
4. 山岳地帯などの急斜面において、小規模な採掘を継続しやすくするため

問8 南アメリカ大陸の地形的特徴を、太平洋側の地点Yから大西洋側の地点Zまでを直線で結んだ断面の様子から説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. 西側の起点付近に標高4000m近い急峻な山脈がそびえ立ち、そこから東へ向かうにつれて全体として標高が低くなっていく。
2. 大陸の中央部に最も標高が高い山脈が位置しており、そこから東西の両海岸に向かってなだらかに標高が低くなっていく。
3. 東側の大西洋沿岸に沿って険しい大山脈が走っており、西側の太平洋側には広大な平坦な盆地が広がっている。
4. 大陸全体が標高500m以下の平坦な地形で構成されており、東西を横断しても大きな標高の変化は見られない。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 モノカルチャー経済	特定の農産物（コーヒーやバナナなど）や鉱産資源（鉄鉱石や銅など）の輸出に頼る経済構造を指します。19世紀から20世紀にかけての植民地支配の影響で、本国に有利な産品を集中して生産させられた歴史的背景があります。現在では、輸出額の大部分を少数の品目が占める状況を改善するため、産業の多角化が課題となっています。
問2	答え 1 鉄鋼業や自動車、航空機製造などの重化学工業が発展しており、さらに海底油田の開発によって原油を輸出するまでになっている。	ブラジルは豊富な鉄鉱石などの資源を背景に、鉄鋼や自動車だけでなく航空機製造といった高度な重化学工業を成長させてきました。また、沿岸部の海底油田の開発に成功したことで、エネルギー資源の自給率が高まり、原油を輸出するまでになっています。APECには加盟しておらず、南米南部共同市場（MERCOSUR）の一員として活動しています。
問3	答え 1 アボリジニ	オーストラリアの先住民はアボリジニと呼ばれる。誤答の選択肢としてよく挙げられるマオリは、ウェリントンなどの都市があるニュージーランドの先住民である。また、メスチソやムラートは、南アメリカ大陸などで見られるヨーロッパ系の人々と現地の人々などの混血を指す用語であり、オセアニア州の先住民とは異なる。
問4	答え 1 大航海時代以降、ヨーロッパから入植した人々と先住民が交わったこと	南アメリカでは、ヨーロッパによる植民地支配の過程で、支配層となったヨーロッパ系の移民と、もともと居住していた先住民との間に混血（メスチソ）が生まれました。ブラジルなどの国々では、こうした多様な背景を持つ人々が共生しており、非常に複雑な人口構成となっているのが特徴です。
問5	答え 1 平坦な地形と温帯の気候を活かし、大規模な機械化による小麦栽培や牛の放牧が行われている。	パンパはアルゼンチンの東部に位置する広大な平原であり、その平坦な地形は大型機械を用いた大規模農業に適しています。東部は湿潤パンパと呼ばれ、小麦やトウモロコシの栽培、肉牛の飼育が盛んです。選択肢にある熱帯雨林の活用やアンデス山脈の高度による使い分け、乾燥帯の灌漑農業は、南アメリカの他の地域の特色を示しています。
問6	答え 1 多文化社会	オーストラリアは1973年に白豪主義を撤廃し、多様な移民を受け入れる方針に転換しました。異なる文化背景を持つ人々が共生することを目指す「多文化社会（マルチカルチャリズム）」の形成は、労働力不足の解消だけでなく、アジア諸国との経済的な結びつきを強める要因にもなっています。
問7	答え 1 大型の機械やトラックを使用して、大量の資源を効率的に採掘するため	露天掘りは広大な土地を利用し、大型の掘削機や超大型トラックを直接投入できるため、鉄鉱石や石炭といった重量のある資源を低コストで大量に採掘するのに適しています。オーストラリアのような、広大で平坦な地形が広がる地域で特に有利な採掘方法です。
問8	答え 1 西側の起点付近に標高4000m近い急峻な山脈がそびえ立ち、そこから東へ向かうにつれて全体として標高が低くなっていく。	南アメリカ大陸の地形は左右非対称であり、西縁にアンデス山脈という巨大な壁があるのが特徴です。そのため、断面図で見ると西側に急激な標高の突き上げ（3500m以上）が見られ、そこから東側にあるアマゾン川流域の低地や、やや標高の上がるブラジル高原へと、全体的には高度が下がっていく傾向を示します。